

Well-being 3.18 Fri.

JLAU は、アジア太平洋地域で活躍するランドスケープアーキテクトとともに、気候変動時代の展望と戦略を語り合う国際会議を 2023 年に日本で開催します。

これを機に、この国際会議のメインテーマである「Living with Disasters/ 自然とともに生きていく」を支える 3 つのテーマ「Green Infrastructure」「Well-being」「Landscape Culture」を JLAU の更なる発展を担うプロジェクトとして位置づけました。本セミナーは、「Well-being」をテーマとした内容としては第 2 回目のセミナーとなります。

『 Well-being × Landscape 』 ～ Well-being city ～

2022.3.18 Fri. 20:00 - 22:00 @オンライン (ZOOM ウェビナー)

定員: 500 名

※当日にイベント視聴ページ上の「イベント参加」ボタンを押してもらうことで、ZOOM の会場 URL に移動します。

第 1 回目のセミナーでは、専門家である坂倉氏をお招きし「Well-being」について議論を行いました。第 2 回目では「Well-being city」について、福祉や新たな働き方など新たな視点を加え議論を深めていきたいと思ひます。街を構成する様々な環境を活用し、より豊かな生活をおくる街づくりを目指している「Well-being city」。各地において実施プロジェクトに関わっている方々にお話しを伺い、今後の「Well-being」の在り方を模索していく機会とします。(造園 CPD 認定プログラムとして申請予定)

[参加費用] 一般 /1,000 円 JLAU 会員・学生 / 無料

[申込方法] Peatix の JLAU セミナー当イベントページ (<https://wellbeingcity.peatix.com/>) にて申込下さい。定員 (500 名) に達し次第、申込の締切とさせていただきます。



Program

▶ session 1 違う観点からの「Well being」

コミュニティデザイナーであり、社会福祉士である山崎氏をお招きし、違う観点からの「Well-being」についてお話しして頂きます。発表後は、JLAU メンバーである忽那氏・武田氏を交え、「Well-being」についてディスカッションを行い、議論を深めていきます。



山崎 亮氏

studio-L 代表
 関西学院大学建築学部教授
 コミュニティデザイナー
 社会福祉士

まちづくりや建築・ランドスケープのデザイン、市民参加型のパークマネジメントなど幅広い分野で活躍されています。

▶ session 2 各地における「Well-being city」プロジェクト

「Well-being city」は、街を構成する環境を活用して、より豊かな生活をおくる街づくりを目指しているその内容は様々となっています。そこで、現在、各地で先進的に実施しているプロジェクトに関わっている方々からお話をお伺いし、今後の「Well-being」の在り方を模索したいと思います。



介護と福祉のこれからを考える
 デザインスクール



泉大津市 小松公園



エディブル・スクール・ヤード堺

JLAU Well-being team



忽那 裕樹氏

JLAU 副会長
 2025 年日本国際博覧会
 特別委員長
 株式会社 E-DESIGN
 代表取締役



武田 重昭氏

JLAU 会員
 大阪府立大学大学院
 生命環境科学研究科
 准教授

山崎 亮氏

studio-L 代表
 関西学院大学建築学部教授
 コミュニティデザイナー
 社会福祉士



南出賢一氏

泉大津市長



木下 光氏

関西大学環境都市
 工学部建築学科
 教授

[事務局]

JLAU : Japan Landscape Architects Union / 一般社団法人 ランドスケープアーキテクト連盟

問い合わせ : JLAU 「Well-being」チーム seminar@jlau.or.jp